

平成 16 年 10 月 29 日

各 位

会社名 株式会社エスコム
 代表取締役社長 名原 健治
 (登録銘柄 コード番号 9472)
 問合せ先 代表取締役副社長 丁 秀鎮
 (TEL 03-5114-0763)

平成 17 年 3 月期中間業績予想 (連結・単独) の修正について

平成 16 年 5 月 20 日付当社「平成 16 年 3 月期 決算短信(連結)および個別財務諸表の概要」にて発表しました平成 17 年 3 月期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)の中間期連結および中間期単独業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 17 年 3 月期中間業績予想の修正等

(1) 連結 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日) (単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	876	85	75
今回修正 (B)	622	145	138
増減額 (B - A)	254	230	213
増減率 (%)	29.0%	270.5%	284.0%
平成 15 年 3 月期中間業績 (C)	999	103	98
増減額 (B - C)	377	248	236
増減率 (%)	37.7%		

(2) 単独 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日) (単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	563	83	73
今回修正 (B)	324	143	126
増減額 (B - A)	239	226	199
増減率 (%)	42.4%	272.2%	272.6%
平成 16 年 3 月期中間業績 (C)	670	101	96
増減額 (B - C)	346	244	222
増減率 (%)	61.4%		

2. 修正の理由

(1) 単独業績予想の修正等

売上高につきましては、教材等事業において新たな商品の開発・販売チャネルの獲得に努めましたものの、主力の中高教科書教材の販売案件が小口化し低調に推移したことに加え、今中間期までに本格的に稼働する予定であった商事事業において新規事業が下期にずれ込んだことなどから、当初計画を下回る見込みです。

経常損益につきましては、教材等事業の売上高の減少に伴う粗利益の減少のほか、商事事業における新たな収益確保を目指した新規事業立上げに伴う投資が先行して実施されたことにより、当初計画を下回る見込みです。

当期純損益につきましては、特別利益として債権回収による貸倒引当金戻入益が 29 百万円、特別損失として過年度売上の商品の返品処理により、前期損益修正損が 10 百万円発生したことによります。

(2) 連結業績予想の修正等

単独業績予想の修正に伴うものであります。

3. その他

通期業績予想におきましては、現在集計中であり確定し次第、お知らせいたします。

(注) この発表文に記載しております予想数値は、現時点で入手可能な情報による判断および仮定により算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因により、実際の数値は当該予想とは異なる場合がありますので、予めご承知願います。

以上